

平成27年度 第1回 京都府域渋滞対策協議会

京都府域渋滞対策協議会の経緯

1.これまでの経緯

渋滞対策の方針

- 「今後の高速道路のあり方 中間とりまとめ(高速道路のあり方検討有識者委員会、平成23年12月)」において、効率性を阻害する渋滞ボトルネック対策の重要性が指摘されたこと
- 社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会においても、渋滞対策を含め、道路利用の適正化が議論されていること
- 民間プローブデータが容易に取得可能となるなど、観測環境に大きな改善が見られること

課題の状況を継続的に把握・共有するとともに、新たな交通観測データの分析等により効果的な渋滞対策の推進に取り組む

渋滞対策の検討経緯

主要渋滞箇所の検討

H25/1/11

第1回
京都府域渋滞対策協議会

1/22～1/28

パブリックコメントの実施

2/8

第2回
京都府域渋滞対策協議会

H25/2/15

主要渋滞箇所の特定・公表

基本方針検討

H25/7/3

第1回
京都府域渋滞対策協議会

渋滞状況のモニタリング・要因分析等

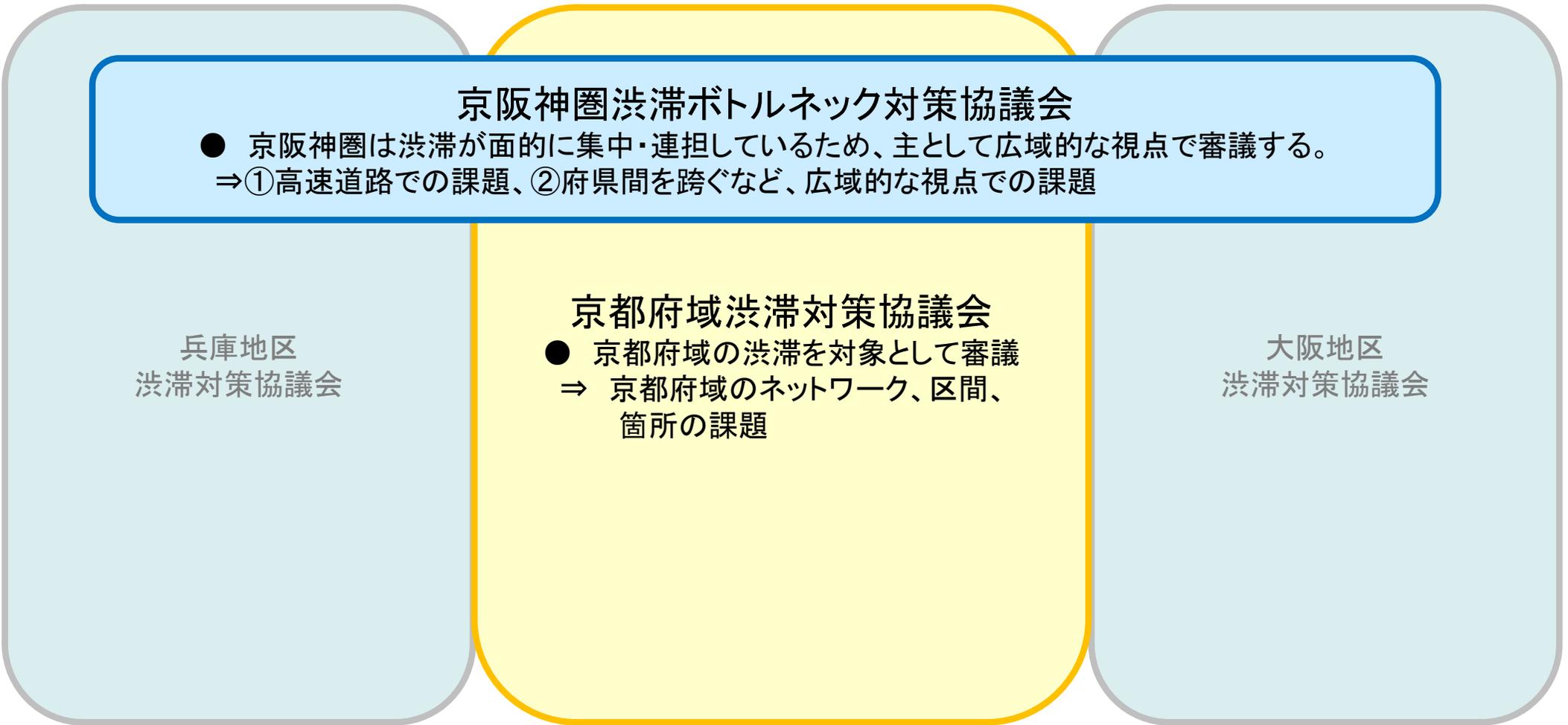
H27/9/30

第1回
京都府域渋滞対策協議会

2.検討体制(京阪神圏ボトルネック対策協議会との役割分担)

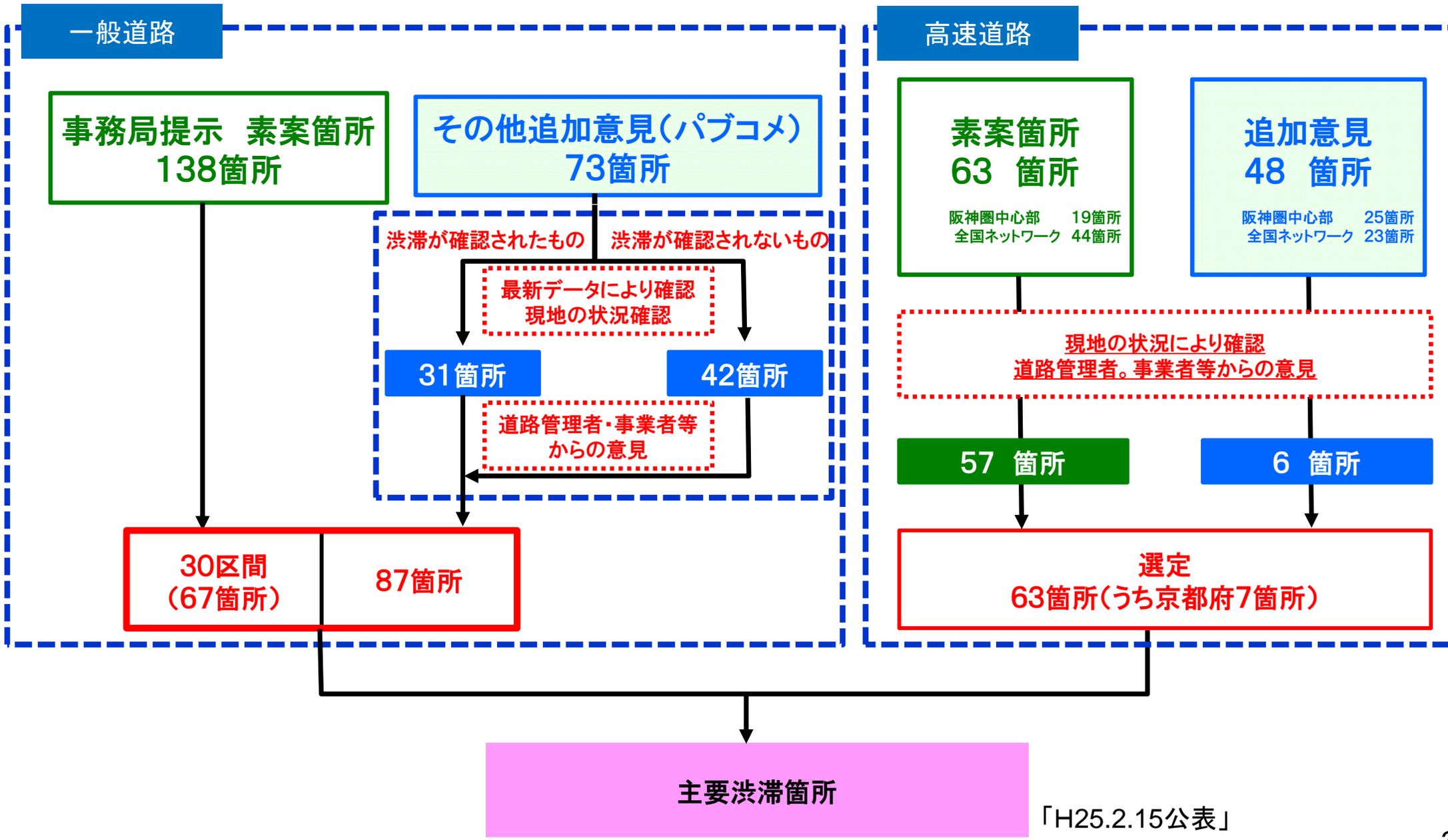
- 京阪神圏渋滞ボトルネック対策協議会では、主に広域的な視点で審議し、①高速道路での課題、②府県間を跨ぐ一般道路等を担当
- 京都府域渋滞対策協議会では、京都府域の一般道路の主要渋滞箇所を担当

■協議会構成(京阪神圏渋滞対策ボトルネック対策協議会との役割分担)



3.主要渋滞箇所を選定・公表

○一般道路では、旅行速度データ等から、主要渋滞箇所(素案)を抽出し、道路管理者・事業者等からのご意見や、パブリックコメントによる一般の道路利用者からのご意見を踏まえて、主要渋滞箇所を選定(154箇所)



4. 京都府域渋滞対策協議会での協議事項

○京都府域渋滞対策協議会では、京都府域全体における課題の状況を継続的に把握・共有していくために以下の3点について、審議を実施

- ①主要渋滞箇所(一般道路)のモニタリング
- ②事業完了による対策効果検証
- ③京都府域における交通課題等の情報提供・共有

渋滞対策協議会のポイント

①主要渋滞箇所(一般道路)のモニタリング
主要渋滞箇所選定時と現在の渋滞状況の比較
【主要渋滞箇所全箇所】

②事業完了による対策効果検証
主要渋滞箇所選定時以降に完了した事業周辺の事業前後の交通状況比較
【事業周辺の主要渋滞箇所等】

③京都府域における交通課題等の情報提供・共有
京都府域における渋滞に関連した交通課題等の情報提供・共有